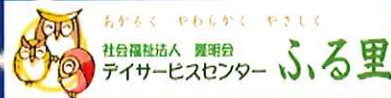


平成30年7月9日発行

ふる里からの 「ふくろうだより」 7月号(文月)

発行者:



長崎県 大村市 鹿橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501
ホームページ検索: アイサービセンターふる里

「日本人の“美德”が世界に波及」

6月15日から始まったサッカーの『2018 FIFAワールドカップ』日本ももちろん出場しています。32チームの出場枠で日本はグループHで、ポーランド(世界第8位)、コロンビア(世界第16位)、セネガル(世界第27位)そして日本(世界第61位)の4チーム。強豪ひしめくグループで「どうなる事やら。試合になるのだろうか。」と内心心配していました。しかし、幕が上がると19日第一戦のコロンビア戦は2対1で勝利。アフリカ勢にアジア勢が勝利したのは初めてで世界中に日本サッカーのすごさを広めました。24日第二戦のセネガル戦は2対2で引き分け。長友佑都選手が、「たたかれ続けたおっさん連中が、決めてくれた。」と自分の事のように喜び「“おっさん連中”の底力」と、ニュースにまでなりました。その、『2018 FIFAワールドカップ』で世界中の称賛を浴びたのが、試合後の“会場のゴミ拾い”。こんな記事が……



『セネガルサポーターもゴミ拾い。日本の美德広がる』

点の取り合いの末、2対2の同点に終わったサッカー・ワールドカップ(W杯)の日本-セネガル戦。24日の試合後、スタンドでは、両チームのサポーターたちが大きな袋を持ってゴミ拾いをした。試合終了の笛が鳴り、続々と帰路につく観客達。興奮冷めやらぬスタンドで、日本サポーターたちが青いポリ袋を手を、テキパキとゴミを拾い始めた。もはや日本サッカーの定番となったこの光景。もともとサポーター集団の「ウルTRASニッポン」が1990年代ごろに始めたとき、ワールドカップでもたびたび海外で話題を呼んできた。この日、同じスタンドではセネガル人サポーターがゴミ拾いをする姿も目立った。試合中は陽気に踊っていたセネガル人たちも、試合が終わればポリ袋を手をせせとスタンドを見て回った。医師のンドブ・セックさん(50)は「ゴミ集めの係員もいるけど、自分たちのゴミなんだから。みんなでやればあつという間さ」。19日にあった第1戦、日本とセネガルのサポーターがそれぞれの会場でゴミ拾いをする動画がネット上で話題となり、海外から称賛を集めていた。この日はその両国が対決。日本ファンの美德として知られてきたゴミ拾いが今大会、広がりを見せている。

胸がジーンと熱くなりました。平成26年の8月号に『ワールドカップでの……に感動!』という表題で書いていますが、今回は世界への広がりがみられました。選手もすごいけどそれを支えているファンの心がすごいです。予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出したものの、健闘むなしくベルギー(世界第3位)に2対3で敗れてしまいました。しかし、“おっさんジャパン”の活躍は爽やかなものでした。

From センター長 森 隆敏



6月行事

さわやか スイーツビュッフェ



美味しそいなスイーツ

今回は、26日(火)~28日(木)の3日間『さわやか♪スイーツビュッフェ』と銘打ち、楽しいスイーツバイキングを実施しました。日頃なかなか味わうことの出来ないバイキング形式の雰囲気を感じながら、おいしいスイーツをお腹一杯食べて頂く!というのが今回の行事の大きな目的です。(職員が食べたいという事もあるような?…笑!)

さて、肝心のスイーツの内容は、ストロベリーホワイトケーキやティラミスといったスタンダードなものからキャラメルマキアートといったホッペが落ちそうなもの、また、チョコレートフォンデュやなめらかコーヒーゼリー、フライドポテトなど日替わりで7種類のデザートを用意しました。各テーブルには可愛らしいテーブルクロスを掛け、そのテーブルの中央には一輪挿しを飾り、まるでおしゃれなカフェ気分を味わいました♪中央のテーブルには、スイーツと生け花を飾り並べたらバイキング会場の出来上がり!!

職員扮する可愛い(?)メイドさんが登場して、その場の雰囲気はまさにカフェそのもの♪

それぞれに好きなケーキやドリンクを思う存分召し上がっていただき、皆さんとても満足されていました。



ケーキのお披露目!



日頃あまりケーキなどを食べる機会がない方もおられました、「とても美味しくておかわりしたよ。」と笑顔で話される方も多くおられました。利用者の皆さんとともに私達職員も一緒に会話をしながらティータイムを過ごすことができ、お腹と気持ちの両方が満たされたとても楽しい行事でした。



最後にご利用の皆様が食べられたスイーツのメニュー例と昼食の行事メニューをご紹介します。本当にとてもおいしくて、おかわりしてたくさん頂きましたよ。



居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



7月の行事予定

◆ふる里7月行事 『ふる里そうめん流し♪』
17日(火)・18日(水)・19日(木)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 10日(火)・26日(木)

◆書道教室 ～中村朱実先生～ 5日(木)・30日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 23日(月) ※1
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村寿美子先生～ 24日(火)

◆やわらぎ(鍼灸マッサージ師)～平島泰士先生～ … 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(4・11・18・25日実施予定)

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



今月の作品



ふる里ではお昼からの時間など『趣味の時間』として様々な活動に取り組んでいただいています。その中にジグソーパズルに取り組まれている天山文好様の作品をふる里内に展示しています。

作品が完成するとふる里にお貸しいただいており、その度に展示しています。今回もいくつかの作品をふる里施設内に展示しています。それ以外にも『生け花教室』『押し花教室』『書道教室』の作品も併せて展示していますので、ご来所の際にはぜひ、ご覧ください。

編集後記 三岳 健吾